



平山氏による
防災講話の様子

有 8/31 事に備えて、家庭でできること 防災リーダー養成研修



避難所開設訓練の様子

6月22日㊤、8月31日㊤の2回にわたり、区役員、自主防災会役員などを対象に防災リーダー養成研修を開催しました。1回目は、名古屋大学減災連携研究センター准教授の平山修久氏^{ひらやま ながひさ}を講師に招き、「能登半島地震から学ぶ地域防災」と題して講話をいただきました。

2回目は、知識がない人でも避難所開設をすることができるツール（ファーストミッションボックス）を使った避難所開設訓練を行いました。

近年、全国各地で自然災害が頻発しています。今後も地域の防災力向上のために、地域の皆さんを対象とした研修会などを実施していきますので、今一度、家庭での備えを見直しましょう。

地 9/9 震の怖さを体験 起震車体験会

9月9日㊤に、深溝小学校の4年生が、なまず号を使って地震の揺れを体験しました。実際に体験する前に、地震が発生した時は頭を守る、足をできるだけ固定して蹴ってしまわないようにするなどの取るべき姿勢について学びました。事前学習の成果もあり、意識しながら震度6強を体験して、机の脚に必死にしがみついていた。

体験を通して、「すごく揺れて怖かった」「本当に地震が起きたら大変」と話しており、地震について考えるきっかけになりました。



体験の様子



講座の様子

ラ 9/10 ジオ体操の奥深さを体験 ラジオ体操講座

9月10日㊤に、中央公民館でラジオ体操講座を実施しました。効果的なラジオ体操を行い、健康の維持増進ができるように基本的な動作から学びました。痛くない範囲で、動かす筋肉を意識して大きな動きをすることが大切であると教わり、講師の動きを真似しながら体を動かしました。約3分のラジオ体操第一ですが、さまざまなことを意識しながら日々継続することで、健康につながると学びました。



右：101歳の都築さん

づ

9/16

長寿のお祝い

長寿記念品授与

敬老の日のご長寿のお祝いとして、町内に住む100歳以上の人を対象に、長寿祝の記念品をお届けしました。また、本年度中に100歳を迎える人には、内閣総理大臣からの賞状と記念品も贈呈されました。

100歳以上の27人のうち、都築信枝さんには、町長から記念品が渡されました。都築さんは長寿の秘訣を「何にもしてないけど、何でもやろうとしている」とお話しされました。

お

9/19

いしく実りました

筆柿の初出荷

町の特産品である筆柿の初出荷が、JAあいち三河幸田営農センター内の筆柿選果場で行われました。コンベヤーに載せられた筆柿は人の目でチェックした後に、光センサーにより甘柿と渋柿の判別がされ、等級別に分けられました。今季は夏の暑さもあり、大きさは小玉ですが、味は濃厚で出荷量は昨季より多くなるとのことです。町内では、幸田憩の農園や道の駅 筆柿の里・幸田で販売されています。



選別は目視です

ラ

9/23

イトアップの下、お話ししました

ブルーライトアップ、手話カフェ

手話言語の国際デーと手話の日に合わせて、役場庁舎前広場でブルーライトアップと手話カフェを行いました。手話に関する理解と関心を深めるためのイベントとして初めて開催され、会場には105人もの方が訪れました。参加者は、ブルーライトアップを撮影して楽しんだりベンチに座りながら手話を学んだり、手話で交流をしたりしていました。



幻想的に照らされました